

産業労働コラム 7

自動車産業の更なる発展を目指して

自動運転社会の実現に向けた挑戦

自動運転技術は、交通不便に対応する新たなサービスの創出、交通事故を始めとする様々な社会課題の解決に寄与することが期待されています。

愛知県は、2015年8月、国家戦略特区（近未来技術実証特区）の地域指定を受け、無人自動運転車両を活用した新たなサービスの創出などを目指し、「自動走行実証プロジェクト」を推進しています。

将来の自動運転サービスの実現を目指し、全国に先駆けて2016年度から自動運転の実証実験を積み重ね、遠隔監視等の自動走行の技術に加え、商用5G、AR（拡張現実）等を掛け合わせ、自動運転によるビジネスモデルの構築を進めてきました。

2022年度は社会実装に向けた取組を更に深化させ、交通事業者等が実運行で再現可能なビジネスモデルの構築を目指した実証実験を実施します。実証地域としては、中部国際空港島及びその周辺地域（常滑市）、モリコロパーク（長久手市）、名駅南～栄南地区（名古屋市）で実施する予定です。

こうした実証実験の取組と併せて、2017年10月に、自動運転に取り組む企業・大学と市町村等との連携組織として「あいち自動運転推進コンソーシアム」を立ち上げ、メンバー相互のマッチング等を通じ、県内各所での実証実験や新事業・新ビジネス創出に向けた取組を推進しています。

今後も自動運転の実証実験等を積み重ねていくことで、県民の社会的受容性の醸成を図るとともに、企業、大学、市町村等とともにオールあいちでの自動運転社会の実装を目指してまいります。



2021年10～11月
中部国際空港島での
実証実験の様子



2022年2月
モリコロパークでの
実証実験の様子



2021年8～10月
名古屋市内での
実証実験の様子

あいち自動運転推進コンソーシアムの枠組み

